

学校教育目標	友達が好き 自分が好き たくましく伸びる 権太坂の子				
	1. 相手と関わりながら相手の気持ちや考えを受け入れ、協力してとりくむ姿をめざします。 2. 相手との関わりを通して、自分のことを理解し、思いや願いをもって、生き生きと活動する姿をめざします。 3. 自分から進んで考え、行動し、最後までやりとげる姿をめざします。				
学校概要	創立 45 周年	学校長 品川 仁美	副校長 伴野 均	2 学期制	一般学級: 12 個別支援学級: 3
	児童生徒数: 382 人	主な関係校: 境木中学校、境木小学校			

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	境木中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける育成を目指す資質・能力を踏まえた「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<言語能力> <自分づくりに関する能力> <問題発見・解決能力>	境木中学校 権太坂小学校 境木小学校	人のかかわりを通して、主体的に考え、行動する子ども ・「学習における対話的活動の充実と学習意識の変容について」をブロック授業研のテーマとして設定し、テーマを意識した授業を展開します。 ・小中ブロックで共同でカリキュラムの運営改善を行います。 ・合同授業研究会を通して、授業改善や授業力向上の実践と推進を図ります。 ・小中ブロックで共同して引取り訓練を行います。

中期取組目標	○子どもの主体性を大切にしながら、地域と連携し、子どもとしっかり向き合い、活気ある学校にします。 ・教育の基盤を児童理解におき、一人ひとりが居場所をもって生活できる風土をつくります。 ・主体的・対話的な授業づくりを推進し、基礎・基本を確実に身につけ、学力の向上を図ります。 ・地域の材を活用し、主体的に課題を見つけ、試行錯誤して課題を解決する力を育てます。 ・家庭や地域、関連機関、近隣の教育機関との連携を深め、教育活動を発信し、地域の一員としての子どもを育てていきます。 ・教職員一人ひとりが教職員としての自覚をもち、自己研鑽に励み、チーム力の向上を図ります。 ・子ども一人ひとりとしてしっかり向き合うための体制をつくるために、業務改善に取り組みます。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
<b>知</b> 生きてはたらく知 担当 学力向上部	【相手意識・目的意識をもって言葉による見方・考え方を働かせることで、目的に応じて言葉を自覚的に用いる能力を育成します】言語環境を整え、語彙を豊かにする手立てをすることで、意味を理解している語彙の量を増やし、語句のまとまりや関係、構成や変化についての理解を深めて語彙の質を高めていきます。
<b>徳</b> 豊かな心 担当 児童支援部	【一人ひとりが居場所をもって生活できる学校・学級をつくります】①ブロック学年、縦割り学年を中心に全校集会、全校遠足、交歓給食といった縦割り活動を行います。②道徳の授業と日常生活がつながり、生活に生かせるようにします。③各教科の授業を通して、意見交流を大切にし、「分かる」「できる」を目指し、互いを認め合う学級風土をつくります。
<b>体</b> 健やかな体 担当 体育部	【心身ともに健康的な生活習慣を身につけ、健やかな心と体を育みます】①体力向上のために、縄跳びランニングを中心とした体力づくりを継続的に取り組みます。②年1回の学校保健委員会で生活習慣や健康に関するテーマについて取り上げ、日常的に取り組みます。
<b>公開</b> 地域連携 学校運営協議会 担当 教務部	【地域と連携しながら、地域の一員としての子どもを育てていきます】①地域の「人、もの、こと」と関わりあいながら、授業づくりを行います。②学校運営協議会を中心として、地域の意見を取り入れながら、より充実した教育活動を行います。③学校だよりやホームページ等を活用して、学校での取組を地域に広く発信します。
<b>児童理解</b> 担当 児童支援部	【児童一人ひとりに向き合い、家庭などと連携を図りながら、児童理解をします】①地域訪問、個人面談、懇談会などで、児童の様子や情報共有を行い、児童・保護者の思いや願いを聞き取り、実際の指導に生かします。②多様な児童に対応するために児童理解に関する研修等を行います。
<b>いじめへの対応</b> 担当 児童支援部	【いじめを未然に防止するとともに、いじめに対しては迅速に組織として対応します】①日頃から児童理解に努めるとともに、いじめアンケート、YPアセスメント、いじめ防止対策委員会を活用し、いじめを未然に防止します。②いじめ防止基本方針を全教職員が共通理解し、組織的に対応します。
<b>特別支援教育</b> 担当 児童支援部	【一人ひとりの実態や特性に合わせた特別支援体制を整えます】①特別支援コーディネーターや児童支援専任が窓口となり、スクールカウンセラーと保護者をつなぎ、児童や保護者の困り感を軽減していけるようにします。②担任だけでなく、関係職員との情報の共有を図り、職員全体で連携して支援していきます。③療育センターや保土ヶ谷養護学校のセンター的機能の活用など他機関とも連携していきます。④特別支援教室を活用していきます。
<b>人権教育</b> 担当 児童支援部	【自他のよさを見出す子どもを育てます】①地域や社会と関わる体験を通して、様々な人がいることを学ぶ機会を増やします。②たてわり活動を通して、子どもたちが互いを思いやる気持ちを育てます。③教職員の人権研修を行い、人権感覚を高めていきます。
<b>安全管理                      安全教育</b> 担当 安全部	【安全管理体制を整えるとともに、子ども一人ひとりが安全に行動できるようにします】①実際の災害に生かせるよう、実践的な避難訓練を行うとともに、毎回の避難訓練を検証し、次回の避難訓練に生かします。②各学年の発達段階に応じた安全教育を行います。③警察や消防など、他機関とも連携し、教職員の安全研修を充実させます。
<b>人材育成                      組織運営</b> 担当 教務部	【教職員一人ひとりが教職員としての自覚をもち、自己研鑽に励みます。教職員が子どもと向き合う時間を確保するために業務の効率化を図ります】①学年内で情報共有の時間をとり、様々な課題に対して学年や学校内で組織的に対応します。②権太塾や重点研究を中心とした人材育成を計画的に進めます。③今までの業務を見直し、子どもと向き合う時間を増やします。